

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道ハイテクノロジー専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

○ 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

毎年、自己点検・自己評価委員会を開催し、教育成果について教育評価を行い、自己点検した内容を元に学校関係者評価委員会において専門学校における教育の方向性と改善点について協議を行っている。また、学校関係者評価委員会での教育指針ならびに改善提案を踏まえ、各分野の委員と年2回の教育課程編成委員会を設け、業界目線による開講科目、内容などの見直しを諮り、カリキュラムを立案している。

また、作成されたカリキュラムは「ディプロマポリシー」「カリキュラムポリシー」「アドミッションポリシー」に則り、学年目標、取得目標資格、就職分野を明確にして、科目ごとのシラバスから毎時間のコマシラバスまでを表示し学生へ公表している。

授業計画書の公表方法

HP上で公開 <https://www.hht.ac.jp/prospectus/disclose-information/>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学修成果の評価については、各授業科目に定められた当該学年の履修するすべての授業科目単位について、単位認定試験(追試験・再試験含む)を実施し評価を行っている。試験実施の1週間前までに、その日時・方法を公示し、原則として実質50分間の試験(論文・レポート・実技・実習を含む)を行い、指導目標に対する学生の学修状況を勘案し、同じ基準に基づいて単位認定会議で単位評価評定を行う。

単位の評価評定は、学生の学修意欲の向上及び適切な修学指導に役立たせると共に、海外への留学や就職等、国際的な評価に対応することを目的としてGrade Point Average(以下GPAという)による評価を実施している。また、成績については各個人へのフィードバックと保護者に成績通知表の送付を行っている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価における評価点は、試験、平素の学習状況、出席状況の3要素により、評価する。成績は、100点法とし、60点以上を合格のDとする。
GPAを算出する計算式は以下の、客観的な指標の算出方法以下のとおりである。(GPAの算出は、小数点以下第3位以下を四捨五入するものとする。)

実点数範囲	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下または不合格
成績評価	A	B	C	D	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

【GPAを算出する計算式】 □

GPA=□

$\frac{\text{(該当授業科目の単位数} \times \text{各授業科目で得たGP) の合計} \cdots \cdots \text{①}}{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計} \cdots \cdots \text{②}}$

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.hht.ac.jp/prospectus/disclose-information/>